

●●●● 会員募集 ●●●●

所 属	担 当 者	連 絡 先	活 動 場 所	活 動 内 容
みなかみ短歌会	富田茂子	046-281-1764	中津公民館等	月1回の定例研修会、新春歌会、他市の展示会への参加等
愛川町吟詠連盟	勝又 莊 蔵	046-286-1035	中津公民館等	月2回の詩吟教室、吟詠発表会等
愛川町民謡協会	原 啓 祐	046-286-0872	愛川町文化会館等	会ごとの練習、年1回の民謡協会発表会等
愛川華道協会	澤 樹 若 江	046-285-1125	各流派社中の稽古場、中津公民館等	流派ごとの華道稽古、年1回の華道協会展、県華道展、武相華道展、他市の団体への協力等
愛川町将棋愛好会	大塚 三 郎	046-285-6137	愛川町文化会館	月3回(水・土・日 10:00～16:00)の棋戦会、年4回の大会、年1回の食事会等(直近日程は無人応答ダイヤル 046-210-9633 で)
愛川町歌謡協会	田中 美代子	046-286-0764	中津公民館、農村環境改善センター等	年に2回の歌謡発表会、老人ホームへの慰問等
愛川茶 道 協 会	足立原 美智子	046-285-2973	各流派社中の稽古場、中津公民館、他地区茶会々場	流派ごとの茶道稽古、初釜、炉開き 依頼に応じて茶席会場にて茶会も行っています。
マジック愛川クラブ	井 上 桂	046-285-0352	中津公民館等	町内・町外問わずイベントでのマジックの披露
神奈川ふだん記	足立原 美智子	046-285-2973	足立原代表宅の編集室、出版祝時の集会々場	あなたの文を機関誌「やまゆり」に書きませんか？ 日常のこと昔のこと何でも書けます。おたより交流もあり楽しみです。お気軽にどうぞ。
よさこいダンスチーム Funny	萩原 智恵子	090-1995-8891	県内・県外イベント、愛川東中学校体育館等	県内・県外のイベントでのよさこいダンスの発表、中学校体育館での練習
マイカイアロハ	江 尻 宏 子	080-5657-0830	中津公民館、文化会館、第1号公園体育館、及び厚木市、相模原市	町内イベントでは、ふるさとまつり、各公民館まつり、勤労祭等に出演、老人ホームへの慰問、さらには厚木市、相模原市のプライベートに出演
愛川 清 流 太 鼓	神津 はじめ	aikawaseiryu.taiko@gmail.com	農村環境改善センター	町内や近隣地域でのお祭りやイベントなどでの演奏。主に第2・3・4日曜日 17時から練習しています。

現在文化協会に所属している団体では、新規会員を随時募集しております。各団体に少しでも興味がありましたら上記団体の担当者、又は事務局までどうぞお気軽にご連絡ください。

**自分の趣味や特技を活かし、  
充実した時間を新しい仲間と過ごしませんか。**

また当協会に加盟したい文化団体も、是非ご相談ください。文化協会ではふるさとまつりでの文化芸能発表会・文化展の開催など常に躍動中です。共に愛川町の文化活動をよりいっそう盛り上げていきましょう。  
愛川町文化協会事務局 電話046-285-6958 (直通)



文化協会ホームページ

2月8日(日) 於 神奈川県内陸工業団地会館



将棋愛好会 開催「中倉宏美女流二段」との指導対局

**編集後記**

本号をご覧いただきありがとうございます。当協会は昨年創立50周年を迎えることができまして、記念誌の発行と式典・講演会を開催いたしました。また、新規加盟団体としてマイカイアロハと愛川清流太鼓が加盟し、現在は12団体で活動しております。3月1日(日)には、友好都市である長野県立科町との交流事業で、「立科町公民館まつり」に愛川町吟詠連盟が参加し、その様子は文化協会だより第16号に掲載予定ですので、次号も楽しみにいただけますと幸いです。節目となる50周年の年に、加盟団体を増やし、愛川町のさらなる文化振興に寄与することができました。当協会が今後60年、70年と続いていくことを切に願ひまして、編集後記とさせていただきます。  
愛川町文化協会事務局

**令和7年度  
愛川町教育委員会表彰受彰者の紹介**

当協会から、1名の方が「令和7年度愛川町教育委員会表彰」を受賞されました。おめでとうございます。今後も特技を活かされて、更なる活躍を期待いたします。

**神 寄 孝 雄 (神奈川ふだん記)**  
(敬称略)



# 文化協会だより

【発行】  
愛川町文化協会  
【事務局】  
〒243-0392  
愛甲郡愛川町角田 251-1  
愛川町教育委員会  
スポーツ・文化振興課内  
電話 046-285-6958

## 祝 文化協会創立50周年



記念講演会 「能の鑑賞『経正』」

### 会長あいさつ



愛川町文化協会会長

原 啓 祐

昨年10月、わが国の憲政史上初となる女性総理大臣が誕生し、その熱が冷めやらぬまま令和8年(2026年)が始まりました。今年はどうな世相が展開されるか興味津々といったところですが、<sup>うま</sup>午年生まれのも、七度目の歳男と相成りました。軽快な足取りで、順調に物事が進展すれば、この上ない喜びであり、そうなることをつましく願っております。さて、昨年は当協会創立50周年記念事業として、能上演付の講演会「能の鑑賞『経正』」を無事開催することができました。伝統芸能である「能」をテーマにした講演会は、一般の観客からも大変好評で、町民に優れた芸術に触れる機会を提供でき、当協会として大きな喜びと達成感がありました。また、記念誌も発行し、当協会と加盟団体の歴史を振り返る、大変良い機会となりました。記念事業が一段落し、再出発となる今年は、さらに愛川町の文化が興隆する様、新規加盟の2団体を合わせた12団体で、取り組んでいき、様々な事業が進展できることを願ひまして、会員一同頑張ってまいります。

文化協会創立50周年記念講演会

能の鑑賞「経正」を開催しました

於 愛川町文化会館ホール

詳細はこちら



大鼓体験

「高砂」を謡ってみよう

着付け体験(事前学習会)

10月25日(土)に能楽師 加藤眞悟先生をお招きして、文化協会創立50周年記念講演会を開催しました。これに先立ち開催した式典では、第4代会長の高橋篤則氏、第5代会長の成瀬和治氏へ感謝状を贈呈しました。講演会は講演、ワークショップ、能公演「経正」と進行していきました。450名の観客は、能楽の世界を堪能され、「事前学習会や講演で内容がわかりやすく説明され、能楽への興味が湧いた」、「体験型の企画が良かった」との感想がありました。



各団体の活動紹介



愛川華道協会の紹介

Instagram



昨年は第41回愛川華道協会展を開くことができました。また、毎年近隣協会10団体で行われる武相華道展には8名の方が4日間作品を生けます。時期が変わるとお花の材料も変わり、私達を和ませてくれています。愛川は自然の草花も豊富にあり、庭の草木も花を添えると、心和むひとときが味わえます。役場のロビーには理事さんが週替わりでお花を生けています。是非お声をかけていただき、皆さんもお花に携わってみてはいかがでしょうか。

愛川清流太鼓の紹介



愛川清流太鼓は2001年、半原まつり研究会として発足いたしました。その後「半原清流太鼓」に改名して活動してまいりましたが、愛川町の和太鼓団体を町内外の皆様幅広く知っていただくため、2015年に現在の「愛川清流太鼓」へと改名。今年で25周年を迎えます。

私たちは、地域の歴史や伝統文化の大切さを学び、子どもたちの豊かな人間性を育み、次世代へ継承していくことを目的に活動しています。日本の伝統文化を身近に感じていただき、和太鼓への興味・関心を深めてもらえるよう、子どもから大人までみんなが一緒に楽しめる場づくりに努めています。

マイカイアロハの紹介



今年度より文化協会に加盟させていただきまして、協会の皆様方には心から感謝申し上げます。

ふるさとまつりでは、文化会館の大きなステージで発表する機会をいただき大変嬉しく思いました。始まるまでは、不安と緊張でドキドキでしたが、踊り終えた時には晴れやかな気持ちで、日ごろのレッスンの成果を発揮できたと実感いたしました。踊りを観てくださった方々からも「素敵でしたよ」、「綺麗でしたよ」とたくさんの優しいお言葉をかけていただき、本当に嬉しく思いました。これからも見てくださる方々に少しでも笑顔をお届けできるように、元気で楽しく踊り続けていきたいと思っています。

愛川町歌謡協会の紹介



わが歌謡協会は、歌うことを楽しみ、仲間との交流を楽しみ、輪が広がることを幸として日々勤めています。

コロナですっかり静かになった歌の世界、懐かしい歌を自分の声で歌ってみませんか?きっと驚くことと思います。

マイクを通して聞こえる声はまるで別人。一度声を出して歌ってみてください。歌ほど心の奥底に溶け込んで励ましを与えてくれるものはありません。

これからも素晴らしい歌声を、会場いっばいに響かせ、心を繋げてまいります。

みなかみ短歌会



愛川華道協会



神奈川ふだん記



愛川町歌謡協会



よさこいダンスチーム Funny



愛川町民謡協会



立科町御泉水太鼓



第39回 ふるさとまつり 文化展・文化芸能発表会紹介

雄勝町伊達の黒船太鼓 (宮城県石巻市)



マンック愛川クラブ



愛川茶道協会 (ふるさと茶会)



愛川町吟詠連盟



マイカイアロハ



愛川町将棋愛好会 (将棋のつどい)



愛川清流太鼓

